

臨床研究に関する情報公開文書

「緑内障に対するチューブシャント手術の術後成績に関する研究」についてご協力のお願い

当院では下記の臨床研究を実施しております。

【対象】に該当すると思われる方で、本調査研究に関するご質問や調査の対象となることを希望されない場合は、下記問い合わせの研究責任者までお申し出ください。

1. 研究の対象

18歳以上の緑内障の方で、2020年9月1日～2024年10月31日に倉敷成人病センターアイセンターにおいて緑内障チューブシャント手術を受けられた方

2. 研究目的・方法

当院では、緑内障チューブシャント手術を実施しています。この手術は、従来の濾過手術（線維柱帯切除術）と比較して、術後の視力回復が比較的早いことや、眼圧下降効果が長期にわたって安定している傾向があるなどのいくつかの利点がありますが、眼内に人工物を挿入するリスクや、長期的な眼への影響が完全には解明されていないなどの考慮すべき点もあります。緑内障チューブシャント手術は、日本では2012年に認可され、まだ12年しか経過していませんが、海外では30年以上の歴史があります。現在日本では慎重な適応が推奨されており、従来の線維柱帯切除術が困難な症例や、線維柱帯切除術が不成功に終わった症例を対象として手術が行われています。本研究は、日本人患者における緑内障チューブシャント手術の有効性と安全性を詳細に検討することを目的としています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、カルテ番号、年齢、性別、内服薬、血液検査、

頭部MRI、頭部CT、緑内障病型、視力、眼圧、視野検査データ、

眼軸長、屈折度数、前眼部画像解析データ、角膜内皮細胞数、緑内障点眼スコア、

眼窩画像検査データ、手術記録

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先・研究責任者

細川 満人（倉敷成人病センター アイセンター）

〒710-8522 岡山県倉敷市白楽町 250

電話番号：086-422-2111 FAX 番号：086-422-4150